

# 2016年 日本印刷学会 夏期セミナー 「drupa2016特集」

## ～デジタル・アナログ印刷の世界的な潮流を知る～

印刷のこれからを常に提示してきた欧州の展示会 drupa。今年も6月上旬に開催されます。前回大きな反響を呼んだ Landa はどう進化しているのか。IGAS、Page で示された開発商品に加えて、こういった情報発信が行われるのか。今回は様々な講演者を通じて多方面な切り口で drupa と今後の印刷について語って頂く予定です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

**主催：**(一社) 日本印刷学会 事業委員会・夏期セミナー分科会 **後援：**(一財) 印刷朝陽会  
**協賛：**(一社) 日本印刷産業連合会、(一社) 日本印刷産業機械工業会、(一社) 日本写真学会、(一社) 日本画像学会、(一社) 画像電子学会  
**日時：**2016年7月8日(金) 9:30~17:00 (9:00受付開始)  
**会場：**富士フイルム株式会社西麻布本社 ホール〔裏面に会場へのご案内〕  
**参加費：**会員・賛助会員・協賛団体会員=10,000円、学生・教職員=2,000円、非会員=18,000円  
(いずれもテキスト代を含む)  
**申込先：**(一社) 日本印刷学会 (〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内)  
電話：03-3551-1808 FAX：03-3552-7206 E-mail：nispst-h@jspst.org  
**申込方法：**ホームページ(HP)上のフォームからお申し込み下さい。HP：<http://www.jspst.org/>  
(聴講者氏名、所属、連絡先を明記してEメールまたはFAXでお申し込み頂くことも可能です)  
**参加費払込：**参加費は当日会場受付でお支払ください。  
**プログラム：**事情によりプログラムまたは講師を変更する場合があります。

9:30開会～17:00閉会

### 1. drupa2016全体早わかり

9:40～10:40

話題満載のdrupa2016ですが、その全体像を的確に捉えて、印刷業界の方向性を判断するためには、俯瞰的に展示会をみれる視点が必須です。  
鷹の眼を持つ山下さん、今回は『スマートdrupa』と予測していますが如何に？



山下潤一郎(ブライター・レイター CEO) 静岡県出身 国際基督教大学卒業  
経営コンサルティング会社、IT企業、デジタル印刷市場調査会社などを経て、  
ブライター・レイターを設立。Webを活用した新規印刷サービスの立ち上げ支援、  
Web時代ならではの魅力的な印刷物の企画、新しい技術を活用したコミュニケーションサービスの企画などを行う。

### 2. drupaとソリューション

10:40～12:40

PODiからみて今回のdrupaには新しいソリューションの提案はあるのだろうか？  
亀井さんには、デジタル印刷活用の最先端を走る団体の視点から探ってもらいます。  
ビジョンとして「どんなITにでも繋がる『紙』でコミュニケーションに革命をもたらす  
ことを目指す」経営者(岡本さん)がみたdrupaにはW2Pの新たな潮流はあったのか？



亀井 雅彦(社団法人PODi代表理事) 三重県出身 慶應義塾大学卒(右)  
コニカ/Kodakでは一貫してデジタル印刷市場を推進。PODiは1996年に米国で発足した  
世界最大のデジタル印刷の推進団体。  
岡本 幸憲(株式会社フルキャスト CEO)(左)  
デジタル印刷の可能性に魅せられ20年、デジタルファーストで価値を提供できる『紙』を  
追求し、2012年に印刷会社より独立。現在ではさらなる上流で様々な事業のプロデュース  
に参与している。

### 3. 動画/写真でみる drupa2016

13:00～13:30

drupa2016の全体像をより理解するには、文字情報だけでなく動画や写真が欠かせません。展示会の情報を、バランス良く提供することを長年続けている講師から、展示会のエッセンスを五感に訴えかけてもらいます。



堀本 邦芳(ジーエーシティー株式会社 代表取締役) 大阪大学大学院修了  
サカイクス入社後、米国技術駐在としてデジタルプリプレスを調査。  
帰国後、印刷技術研究所主任研究員として印刷業界のデジタル化を推進。  
ブルーフとカラーマネージメントシステムの技術開発/市場導入。印刷の色標準化推進。  
2009年11月～2013年7月までマーケティング部長として新規事業の創造/推進に従事。  
ジーエーシティー株式会社の社長に2010年6月に就任し今日に至る。

## 4. 印刷会社経営者からみた drupa2016 13:30~14:30

デジタル印刷機で事業売上を着実に伸ばしている印刷会社の経営者が、今回のdrupaで注目したポイントをまとめてもらいます。  
デジタル出力機の増加に伴い、フロントシステムの進化が不可欠と考える講師が独自の視点で振り返ります。



黒岩 信司（錦明印刷株式会社 常務取締役）北海道出身 千葉大学卒  
1980年 錦明印刷株式会社入社。各部門を遍歴しながらアナログからデジタルまで幅広い経験と知識を蓄積。PODを活用した各種サービスを立上げながら着実にPOD事業を伸張。  
現在、常務取締役として技術全般を統轄している。

## 5. 中小印刷業からみた drupa2016 14:50~15:50

drupaに連続13回訪問して印刷業界の変遷を知り尽くしている講師が、印刷機の視点から印刷業の未来を見通していきます。drupa事前情報でも展示会をリードしてきた印刷機械ベンダーの出品内容や方向性は、画一的ではなく色々な未来を打ち出しています。業界随一の見識者が分析/考察した結論は如何に？



五百旗頭 忠男（全国プラザ協議会 事務局長）大阪府出身 千葉大学卒  
1991年 印刷機械貿易株式会社を取締役営業統轄本部長を最後に退任。  
その後 全国プラザ協議会の事務局長に就任。  
合せて今年の6月まで一般社団法人日本WPA（日本水無し印刷協会）の事務局長を歴任。  
世界各地の国際展の訪問歴は業界で最長最多。

## 6. drupa2016でのLanda Nanographyの進化は？ 15:50~16:50

2012年のdrupaで初出展して以来、Nanography技術を熟成してきたLanda社。  
開会直前から怒涛の情報を流し始め、会場での動態プレゼン（5回/日）は完全予約制で実施。4年前のコンセプト機から実用機への進化をアピールするようです。  
当初からLanda社と携わってきた講師から、その実態と最新情報を語ってもらいます。



吉川 武志（株式会社小森コーポレーション 部長）千葉県出身 千葉大学卒  
1981年株式会社小森印刷機械（現在の小森コーポレーション）入社。研究部、営業推進室、印刷技術部、技術管理部、デジタル系開発業務、営業技術部、販売推進部、新規事業推進室、DPS事業本部などを歴任後、2015年10月より現職のDPS営業推進本部にてマーケティング業務に従事している。

### 富士フィルム株式会社西麻布本社 ホール

住所：〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30 1F

問合せ先：03-3406-2111（代）

アクセス：東京メトロ銀座線「表参道」徒歩15分

東京メトロ日比谷線「六本木」徒歩15分、またはバス渋谷行き「南青山七丁目」徒歩1分

JR山手線「渋谷」徒歩 20分、またはバス新橋行き「南青山七丁目」徒歩1分

